

学籍番号	氏 名	担 当 教 員	テ ー マ	
M30-0456H	小野 明輝	大曾根 先生	承認印	おうち BAR ～カクテル提案機能の開発～

1. 研究目的

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で外食が減り、お酒を楽しむ機会が減った。そこで、様々なお酒の楽しみ方を提案する「おうちBARシステム」を制作することにした。気分や好みに合ったカクテルを自宅で楽しめるカクテル提案機能に加え、家飲みで興味を持ったカクテルを外でも楽しむための店舗検索機能を付加した。カクテル提案機能でカクテルに興味を持ってもらい、店舗検索機能で実際のバーに行ってもらうことを目的とした。

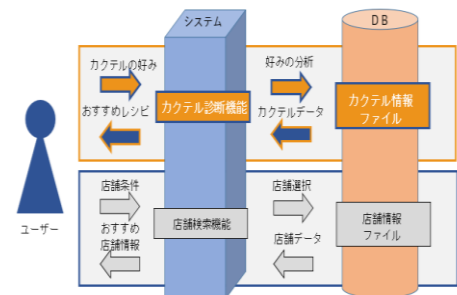


図1 システム概要図

2. システム概要

本システムは、コロナ禍において多様化した飲酒への向き合い方に寄り添って、家と外など異なるシチュエーションでのお酒の楽しみ方を提案するシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムには以下の2つの機能を持たせた。

- (1) カクテル提案機能：ユーザの好みに合わせたカクテルを提案する機能である。
- (2) 店舗検索機能：ユーザの条件に合う店舗を提案する機能である。

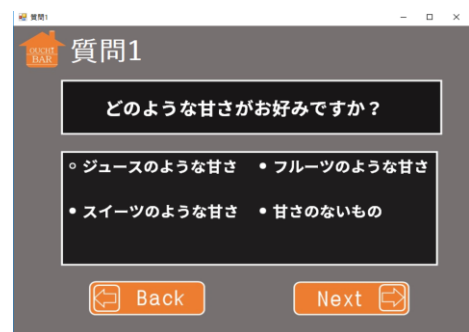


図2 質問画面

3. カクテル提案機能の開発

本機能は、自宅でカクテルを存分に楽しんでもらい、お店に行くための足掛かりとすることを目的としている。本機能には、以下の2つの機能を持たせた。

- (1) カクテル診断機能
カクテルを性質ごとに分類し、ユーザーに複数回質問を行うことで、ユーザーの好みを診断する機能である。
- (2) レシピ表示機能
カクテル診断機能によって得られたユーザーの好みから、おすすめのカクテルレシピを表示する機能である。

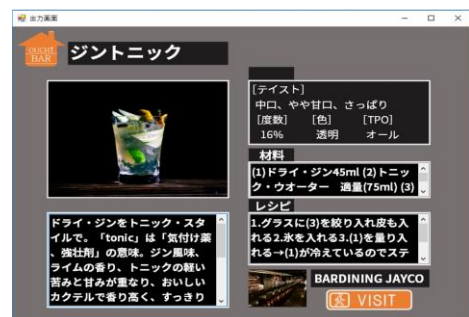


図3 レシピ表示画面

4. 研究成果

- (1) カクテル診断機能により、自宅で気軽に好みのカクテルを楽しめるようになった。
- (2) レシピ表示機能により、ユーザーがカクテルについての知識を深く得られるようになった。

5. 残された課題

- (1) データベースに登録されているカクテルレシピの掲載数が少ないので掲載数を増やしたい
- (2) 文章による作り方では細かい手順の説明限界があるため、カクテルの作り方を動画化したい

キーワード	お酒、カクテル、バー、宅飲み、おすすめ診断				
種類	システム開発	手法	データ検索	データ源	BAR Web サイト
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio2017	使用言語	Visual Basic